時何 かがいつもと違うよ

か

引っ越した頃からそ

返せば3

大事なことを教

った。 誰一人通る人 周りを見渡 な

思わず近寄っ

けて外を見回した。 りは静寂その 月の台風 __ b 過 0) \mathcal{O}

るとともに

「何で?」 びっくり

と見送っ

最期まで迷

心の中で

「あ

ŋ

がとう

惑をかけ

なか

った老木に

っていた。

様にひっそり

を横

た

家に戻った。

桜木を清め

は思わず、

が

島本地区

横たわっていた。

その桜木は通せんぼ

曲がった桜の樹が大きく

昨年 のできごとで あ

恐るおそる玄関を開

で人通りの邪魔にならな

いるのでは

なく、

まる

い倒木

0)

姿で

った。

お塩を取りに安であった。私

といえばそう

b

しれ

な

の姿となって していることが

寿命 瞭然

目

にずらすと、

無残に折

を少し下

いつもっ

のところにあ

さくらにあり

ることになったのか、 君がなぜ保護観察を受け に友人との 組ん った。 私は全く想像ができ でいた。そんなA 交際があ 面接を進めて のひ る 当 語っ 子どもが

である。 仕事も精力的に取 高校卒業後に就 親は る A 君。 くなり 早くに我々親が子離れし たのが印象的だった。 「今思うと、 べきでした」 一方、

れることがスト 両親に咎められ、 ことを「友人とのことで よく衝突してい 「思うようにい 悔し か った」と語 た。その -レスだっ 心配さ か ますます親

境で育

9

たやさし

い青年

は安定した家庭環

五領・磐手地区

いて

て、

だろう。

考えると、

離れ子離れは

私の保護観察日

記

うであっ

両親はその

ねても、

親は気にかけ

大きな不

心配

する

0)

は当然

のこと

A 君 の 両 っと ことを思い することだ」と言 「子どもは授かり その の役目は授か い課題である 出す。 ある医師に É わ

ったその 0)

妻

一雲抜け

走る光の子

一吊りの

西

瓜の甘き香

親心の配慮は尽きないが、 子どもを社会へ送り 命を育てて社会にお返し 教育に れた

数へしんだ。こ 数も少なくなり、 しておきた ための視点は その 樹は 丰 老化を 昨今花 を楽

ています
今後も引き続きの投稿をお待ちし 投稿をいただきました

行

手をはば

む駐停車

0

を

いくら年齢を

か き ع

先日、孫と一緒に近くの公園に虫取りに行きま したが、トンボやチョウがずいぶん少なくなって いました。気候変動や森林開発など、様々な原因 があるそうですが、まだ大きな問題にはなってい ません。ただ、トンボやチョウも農作物にとって は益虫で、トンボは害虫を捕食し、チョウは受粉 の手伝いをします。このままどんどん減っていけ ば、農作物の生育にかなりの影響を与えることに なると思われます。 (関)

この夏一番耳にし、記憶に残った気象用語が 「線状降水帯」です。知らないことが色々ある 中、天気予報図を見ながら地球を宇宙から俯瞰し たら、この星の寿命が予測できるかもと妄想して います。戦争している場合じゃないよ。(吉)

ある社会福祉法人が、子育て支援のためのフリ ースペースを無償で提供していてそこでボランテ ィアをしています。未就学児を持つ親同士がおし ゃべりしたり子供たちが自由に動き回ったりする 中でいろんな関わりが広がっています。家族以外 の人と関わることが少ない状況の中、貴重な時間 が作れているなあと感じています。(三)

ききょう俳壇

水無月や移住地社明 \mathcal{O} 師 |匠計 報に 接 参加 梅 雨 明 せ LAN

名誉会員 田 正

俊 三年目 り作品 おだや

絶景は 社 か 年 明の に \mathcal{O} 流 包みこむな 行事再現さ n に 変ら IJ 手作

名誉会員 澤 田 浩 子

()

きいきと映ゆ

タ 動 () てハ が 楽

漢字で

は

人

が

ίΞ 迷惑

 \mathcal{O}

は

11

鳴らして急

ききょう歌壇 ただ

LAN

目 【2面】3年ぶりの開催 中央集会 【3面】作文コンテスト優秀作品島本町立第二中学校

高槻市社会福祉協議会内 会長 松 本 広 報 部 〒569-0065 高槻市城西町4番6号 **8** (072) 674-7684 広

高槻地区保護司会だより

10月1日

(令和4年)

:会を明るくする運動" ~犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ~



◆オープニングセレモニー

7月1日 (金) $17:00\sim18:00$

3年ぶりに"社会を明るくする運動"ののぼり が生涯学習センター前にたくさんはためきまし た。推進委員長の濱田市長の挨拶で始まり、パ レード後は消防音楽隊の演奏がありました。 久々の熱演に拍手喝采でした。

人はみな

生かされて

生きてゆく

更生保護ネットワーク

◆中央集会 き 7月2日 (土) 13:30~16:00 高槻市立生涯学習センター2階

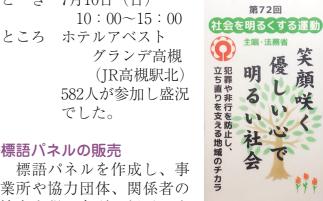
多目的ホール 大笑い福祉使・楽語家 交遊亭楽笑さんの講演

市立冠中学校ブラスバンド部の演奏 【1面】第72回"社会を明るくする運動"報告

◆更生保護茶会・矯正保護施設等作品展示即売会 (主催:更生保護女性会)

7月10日 (日) $10:00\sim15:00$ ホテルアベスト グランデ高槻 (JR高槻駅北) 582人が参加し盛況 でした。

標語パネルを作成し、



退任挨拶 人事消息

◆標語パネルの販売

協力を得て各所に掲示しま 主催 高槻·島本地区社明運動推進委員会 高槻·島本更生保護振興会

【4面】作文コンテスト優秀作品高槻市立第一中学校

【5面】第一期定例研修会 訃報 【6面】会員文芸欄 あとがき

狂







中央集会に参加して

第72回 "社会を明るくする運動" が3年ぶりに 行われました。一部は、16年前に高槻市役所を退 職された横山勝一さん(現在は大笑い福祉使・楽 語家 交遊亭楽笑さん)の講演でした。

横山さんには、以前私の職場にガイドヘルパー 養成講座の講師として何度も来ていただき、その 節は大変お世話になりました。人権尊重、ノーマ ライゼーションについてなどの内容だったと記憶 しています。

今回のお話で、退職された後、障がい者施設で 現場をじかに経験されたり、ハンセン病療養所な どを訪問されたり、在日外国人の方々と多文化共 生に向けた啓発活動などに取り組まれるなどの経 験を積んでこられたということを知りました。

☆みんなが生き活き暮らせる地域づくりに参画 しましょう。

☆昨日より今日、そして明日に向かって自分から進んでつながりましょう。

をモットーに依頼があればどこへでも出向き まーす! というエネルギッシュで楽しいお話で した。

第二部は、高槻市立冠中学校ブラスバンド部に よる演奏で気さくな先生を中心にジャズにアレン ジした迫力ある演奏で盛り上がりました。

(広報部 三俣記)

第一期 定例研修会

と き 令和4年6月7日 (火) 13:30~15:30

ところ 高槻市地域福祉会館3階 研修室

テーマ 「高齢又は障がいのある対象者の

処遇について」

師 大阪保護観察所 保護観察官 中村暢子氏

実事例も用いて研修がなされ、実践的な研修内容になった。参加者は47名でした。

(研修部 井本記)



おつかれさまでした

退任のあいさつ

高槻・大冠地区 辻本昭信

この度、私は34年間続けてきました保護司を退任しました。思えば、昭和25年の保護司会発足から38年間務めた父のあと、昭和63年に保護司を拝命し、平成を経て現在は令和4年です。その間、時代の変化とともに保護司の組織や活動も変わりました。当初は保護観察の担当が主な仕事でしたが、今では保護司も社会に開かれた任務として"社会を明るくする運動"、サポートセンター、研修や部会などの活動が増え、役員の方々や会員の負担も大変です。活動内容のスリム化を考えてもいいのではと思います。

高槻地区の保護観察対象者は平成の初めは約

このたび定年で退任されましたのでご挨拶をお願いしました。 退任後のますますのご活躍を期待申し上げます。

100件、その後ピークの平成13、14年は約200件、平成25、26年には約100件、令和に入って約40件に減少しました。私はほとんどの期間、複数件を担当しましたが、なぜ犯罪をすることに至ったのかを考えることが大切であると思っています。特に手のかかった者や特別なケースについては懐かしく思い出します。

私は保護司としての前半は教員として、後半は寺院の住職としての務めがありました。十分に会の活動に参画できず申し訳ないことでしたが、退任された先輩方や現役の方々に多くの知己を得ましたことをありがたく思っています。引き続き「一杯の会」やハイキング同好会の皆様にはよろしくお願いします。

人 事 消 息 (敬称略)

(高槻・大冠地区) 辻 本 昭 信

計 報

名誉会員 竒山秀憲様 (98歳) が去る6月27日 ご逝去されました。

ここに生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意 を表します。

地区別保護司数 (令和4年9月1日現在)

〔高 槻 保 護 区〕 定数 100名			
_	在 籍 数		74名
保		高槻・大冠	13名
護ョ	地	芥 川・清 水・樫 田	13名
司会員	区	富田・阿武野	13名
云吕	会	五 領 ・ 磐 手	12名
数	別	三箇牧・如是	15名
жX		島本	8名

第72回"社会を明るくする運動" 高槻地区推進委員会 作文コンテスト優秀作品

「人との関わりの大切さし

河村 楓葉 高槻市立第一中学校3年

2019年に中国で確認された新型コロナウイル たちの私生活に莫大な影響を与えました。

任の先生から「明日から卒業式の練習を始めま す | と聞き、とても楽しみにしていました。し かしその日の夜、ニュースで全国一斉休校の文 字が目に入りました。最初は嬉しく思っていま はできるのかという不安が頭をよぎりました。

新型コロナウイルスが流行してから、休校中 は外に出られず、友達と遊ぶこともできません でした。幸い卒業式だけはできましたが、在校 生や地域で見守ってくださる自治会の方や PTA役員の方々に来てもらうことができず、 地域の人と関わる機会がなくなってしまいまし た。私にとって友達や地域の方々と関われなく なるということはとてもショックでした。

私生活に影響があったのは私たち子どもだけ ではありません。飲食店は休業や時間短縮など、 会社員は会社に行けず、自宅でテレワークが日 常になってしまいました。今まで当り前だったなることを私は願っています。 ことが当り前じゃなくなってしまい、人とのコ ミュニケーションがとれなくなってしましまし

ウイルスが流行してからのニュースはとても 暗い物ばかりで、世界がどんどん暗くなってい くのを感じとりました。そして失業者率が上 がってしまい、貧困による万引きなどの犯罪や、 誰にも相談できずに、SNSトラブルに巻き込ま

私は社会を明るくするために、人との関わりれるという事件が多発しました。その原因は、 を大切にしていきたいと思っています。しかし、 人とのコミュニケーションをとることができず に、誰にも相談することができなかったからだ スが世界を一変させました。そのウイルスは私 と思います。誰かに相談していれば、解決策が 見つかったり、気持ちが落ち着いて犯罪に手を 2020年2月、当時私は小学6年生でした。担 染めることはなかったのだと思います。だけど その当時は、緊急事態官言で外出自粛や、人と の関わりをとることが許せなかったので、どう しようもなかったのかなと思ってしまいました。 しかし今現在では、ウイルスの実体も分かり、 したが、次第にいつ学校に行けるのか、卒業式 ワクチンが開発され、イベントなどが開催され るようになり、観光地にも人が賑わうようにな りました。学校の行事や地域のイベントも増え てきたので、人との関わりを深めるためにただ 参加するだけではなく、積極的に挨拶などをし たり、ボランティア活動に参加し、顔見知りや 友達を増やしていきたいです。それが、社会を 明るくしていく始めの第一歩だと私は思います。

一人一人がコミュニケーションをとることを 意識しないと、「明るい社会」にはならないと 思います。だから私は、人との関わりを大切に していきたいと思いました。いつか、罪を犯し てしまった人たちも「幸せ」だと思える社会に



第72回"社会を明るくする運動" 高槻地区推進委員会 作文コンテスト優秀作品

「あいさつが繋ぐ明るい社会」

優太 森元 島本町立第二中学校1年

"社会を明るくする運動"と聞いて私が連想 したのは「あいさつ」です。あいさつは毎日ので、 生活の中でスタートを切る言葉「おはよう」と、 一日の締めくくり「おやすみ」を含むコミュニ がちですが、私の家では特に欠かさないようにすると、お爺さんは、 しています。なぜならば、あいさつは会話の きっかけになったり、気持ちの繋がりを強くす るからです。コミュニケーション不足は勘違い からこそ欠かさないように と両親から教わり た。私のことを知ってか知らずか分からないけ て、繋がりをもつことができます。あいさつはできました。 社会活動の中でとても大切なものです。

さて、みなさんは家族や友人など身近な人た ちの以外の、例えば地域の人たちへのあいさつ をしていますか。書き始めにあいさつは大切だ と書いた私ですが、実は知らない人や関わりが 薄い近所の方などへ笑顔であいさつをすること があり、どうもうまくできないのです。

とある日、習い事に行く途中の出来事です。 道を曲がったところでお爺さんと目が合いまし た。それは近所のお地蔵さんのお世話をしてい どさほど知り合いでもない間柄です。私はお爺 さんの顔を知っているけど、向こうは私を覚え てくれているかどうかも分からないといった具 合です。あいさつをして「誰だこの人」と怪し まれたらどうしよう、そんなことが頭の中で浮 かんで、あいさつをするべきかやめておくべき

かグルグルと悩みました。しかし、勇気を出し

「こんにちは!」

と、あいさつをしてみました。心臓バクバク ケーションの要です。家族の間では適当になりで、暑さとは違う汗もじんわりかいています。

> 「こんにちは。元気かねぇ、飛ばす車が多い から気をつけや|

と、笑顔で返してくれました。私はほっとし やすれ違いを生むことがあり、「大切な間柄だ たのと同時に、とても温かい気持ちになりまし ました。友人や先生も同様に、あいさつを交われど、車に気をつけてと気遣いまでしてくれた すことでコミュニケーションのきっかけができのです。あいさつをきっかけに優しい繋がりが

この経験をしたことで、あいさつが人の心を 明るく、温かくすることが身をもって分かりま した。まだ身近な人以外へのあいさつが苦手な 私ですが、一言声をかけるだけでコミュニケー ションが生まれ、誰かを笑顔にし、心を温かく できるのならば、積極的にあいさつすることを は少し苦手です。ドキドキしたり、恥ずかしさ 心がけたいと思います。また、私のように少し 苦手だなと思っている人も、ぜひ勇気を出して あいさつをしてみてください。ひとりひとりが 心がければ、温かい繋がりはどんどん増えてい きます。そうすれば、人を思いやる気持ちが生 るお爺さんで、全く知らないわけではないけれまれ、コミュニケーション不足から起こる諍い を減らし、社会全体が少しずつ明るくなると思